北九州市立医療センター 広報誌

生きるをささえる

輪

vol. 95

北九州市立医療センター
広報誌「輪」

ご自由にお持ちください

Kitakyushu Municipal Medical Center Communication Paper

低侵襲ロボット治療センターメンバーのみなさん

がん特集

◎センター紹介

低侵襲ロボット治療センター開設

◎夏休み体験イベント

「集まれ近未来の外科医達！ ロボット手術体験」

◎News& Topics

肥満症の治療について

一緒に働きませんか？

現在、当院ではメディカルアソシエイト（医師事務作業補助者）、診療情報管理士、診療報酬請求事務、がん登録など多くの事務職が生き生きと活躍しています。医療現場で一緒に働きませんか？

メディカルアソシエイト（医師事務作業補助者）

- 医師の指示のもと、診断書や紹介状、処方せん、各種保険の証明書などの文書の作成
- 外来診療に同席し、医師の指示のもと、診療内容を電子カルテに入力　など

未経験者可
資格不要

診療情報管理士

- カルテの内容確認・保管、退院サマリ管理、診療記録監査、診療統計データの集計・資料作成
- DPCコーディング、様式1作成、提出データ・各種統計資料作成
- クリニカルパス関連業務（委員会庶務、データ分析、臨床指標データ作成等）

※診療情報管理士資格者

診療報酬請求業務

- レセプト点検
- 入院診療報酬計算
- 患者さんへの説明
- 未収金、査定対策

がん登録業務

- がんの診断、治療、経過などに関する情報の調査・収集、管理、統計・解析
- 全国集計（全国がん登録）への届出

※がん登録実務（初級または中級）認定者

詳しくは　北九州市立医療センター 採用　検索

標榜診療科一覧

内科	呼吸器内科	小児科	肛門外科	整形外科	小児外科	放射線科
肝臓内科	消化器内科	外科	肝臓外科	形成外科	皮膚科	病理診断科
血液内科	循環器内科	消化器外科	胆のう外科	リハビリテーション科	泌尿器科	救急科
感染症内科	腫瘍内科	乳腺外科	膵臓外科	脳神経外科	産婦人科	麻酔科
心療内科	内分泌・糖尿病内科	内分泌外科	食道外科	呼吸器外科	眼科	歯科
精神科	緩和ケア内科	大腸外科	胃腸外科	心臓血管外科	耳鼻咽喉科	

基本理念

わたくしたちは公共的使命を自覚し心のこもった最高最良の医療を提供します

基本方針

1. 患者さんの権利　個人情報を保護し　患者さんの立場に立った医療を行います
2. 十分な説明と同意による信頼関係のもとに　患者さんが満足できる医療を行います
3. 安心かつ安らぎが得られる質の高い医療をめざし　安全管理を徹底します
4. 常に研鑽して最高水準の医療知識・技術を習得し　あわせて温かい心を持つ医療人をめざします
5. 地域における役割を自覚し　地域の医療機関とともにその責務を果たします
6. 合理的かつ効率的な病院経営に努めます
7. 職員が誇りを持ち、安心して働ける職場環境をつくります

編集後記

広報誌「輪」編集長　髙島 健

ロボット手術は「ロボットが自動的に手術を行う」と誤解されがちですが、実際には医師がロボットを操作して行う手術です。ロボットが2台に増え、1日に2つのロボット支援下手術が行われる日が増えています。日頃は全く触ることはできませんが、夏休み体験イベントに乗じて操作することができました。3Dカメラで立体的に見える！老眼でもすごくはっきり見える！すごい！これを完璧に操作できる執刀医の先生方はもっとすごい！中高生よりも楽しんだ自信があります。

輪 vol.95
発行日：2024年11月1日

地方独立行政法人 北九州市立病院機構
北九州市立医療センター
〒802-8561　北九州市小倉北区馬借二丁目1番1号
TEL.093-541-1831（代表）　FAX.093-533-8693
外来予約センター　093-533-8640
[月～金　9:00～16:00]紹介状または二次検診初診受付
ホームページ　https://www.kitakyu-cho.jp/center/

ホームページ　Facebook　Instagram　X

※本紙では撮影用にマスクを外しています。

センター紹介

低侵襲ロボット治療センター開設

手術支援ロボット「ダヴィンチ」2台目導入

安全で確実な治療を、より早く提供可能に！

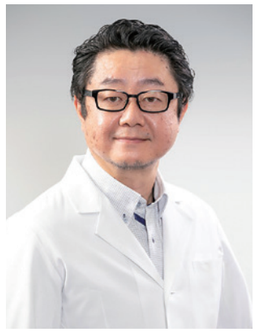
北九州市立医療センターでは、8月より「低侵襲ロボット治療センター」を開設しました。これまで行われてきた開腹手術と比べて、体への負担を減らすことが可能な内視鏡手術やロボットによる腹腔鏡手術（ロボット支援手術）を低侵襲手術と呼びます。ロボット支援手術による治療成績の向上や安全性は世界中で報告されており、わが国でも保険診療として使用できるようになっています。

当院では2019年9月にダヴィンチ（daVinciXi）を導入後、前立腺がんに対するロボット支援手術を開始し、腎がんに対する腎部分切除術、膀胱がんに対する膀胱全摘除術などを行ってきました。当初、泌尿器科領域から始まったロボット支援手術は、外科領域の食道、胃、大腸、膵臓、肝臓などの消化器がん、呼吸器外科領域の肺がん、婦人科領域の子宮体がんなど各領域へと広まり、2023年度には242件の治療を行いました。

現在、多くの医療機関から治療の依頼をいただき、各領域のロボット支援手術が増加傾向にあります。治療までの待ち時間が長くなってきたため、今年7月に2台目のダヴィンチを導入しました。低侵襲ロボット治療センターでは各領域で計6名の認定指導医が在籍しており、これまで以上に安全で確実な治療を一日でも早く提供できるように努めていきます。

低侵襲ロボット治療センター長
泌尿器科 主任部長
立神（たつがみ） 勝則（かつのり）

PROFILE



立神 勝則

私とロボット支援手術とのかかわりは、2009年にわが国で初めて先進医療としてロボット支援前立腺摘除術を開始したことです。当時は数名しかいなかった術者も、今では各領域で標準術式として広まり、多くの医師がロボット支援手術を行えるようになりました。日々進歩する医療技術の導入によって、患者さんはもとより医療者も多くの恩恵を受けることができるようになったと感じています。

今後も先端医療を取り入れ、より高度な医療を提供できるように取り組んでいきます。

専門医等
- 日本泌尿器科学会専門医・指導医
- 日本泌尿器科学会日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医
- 日本泌尿器内視鏡学会泌尿器ロボット支援手術プロクター認定医
- 臨床研修指導医

学会関係
- 日本泌尿器科学会
- 日本泌尿器内視鏡学会
- 日本泌尿器腫瘍学会
- 日本癌治療学会
- 日本ロボット外科学会

食道・胃領域

外科主任部長　赤川（あかがわ）　進（しん）

●専門医等
・日本外科学会専門医・指導医
・日本消化器外科学会専門医・指導医
・日本内視鏡外科学会技術認定医・評議員
・日本食道学会 食道外科専門医
・日本がん治療認定医機構がん治療認定医
・ダヴィンチサージカルシステム術者資格認定
・ロボット支援手術認定プロクター（消化器・一般外科）
・日本食道学会 食道外科専門医・評議員

ロボット手術は最も低侵襲なアプローチ方法であり、食道がん手術や難易度の高い胃がん手術に向いています。その利点を生かして合併症をゼロにすることを目標にしています。

外科医にとって、手術を受けられた患者さんが笑顔で退院する瞬間が何よりのご褒美です。治療に対する不安があれば、いつでもご相談ください。

大腸領域

外科主任部長　永井（ながい）　俊太郎（しゅんたろう）

●専門医等
・日本外科学会専門医・指導医
・日本消化器外科学会専門医・指導医
・日本内視鏡外科学会技術認定医
・日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
・日本がん治療認定医機構がん治療認定医
・日本大腸肛門病学会専門医
・ダヴィンチサージカルシステム術者資格認定
・日本内視鏡外科学会ロボット支援手術認定プロクター（大腸）
・日本ロボット外科学会Rob Doc certificate（国内B）

大腸骨盤外科主任部長の永井です。ロボット手術のプロクター（指導医）資格を持っており、100例以上の経験があります。ロボットの特徴を活かした精緻な手術で、機能温存・がんの根治を可能にする手術ができるように日々全力で手術を行っています。

最新の機器・技術で、がんの根治を一緒に目指しましょう！

肝胆膵領域

外科部長　小薗（こぞの）　真吾（しんご）

●専門医等
・日本外科学会専門医・指導医
・日本消化器外科学会専門医・指導医
・日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
・日本肝胆膵外科学会高度技能専門医
・日本内視鏡外科学会技術認定医
・ダヴィンチサージカルシステム術者資格認定
・日本肝胆膵外科学会ロボット支援膵頭十二指腸切除プロクター
・日本肝胆膵外科学会ロボット支援膵体尾部切除プロクター

肝胆膵領域を担当しております小薗真吾です。日本有数のロボット手術数を誇る東京医科大学病院で長年修練し、ロボット支援膵頭十二指腸切除および膵体尾部切除のプロクター（指導医）資格を取得しております。体に負担の少ない最先端のロボット手術を提供いたします。

肝臓・胆のう・膵臓の病気で手術が必要な方は、ぜひご相談ください。

呼吸器領域

呼吸器外科部長　上妻（こうづま）　由佳（ゆか）

●専門医等
・日本外科学会専門医
・日本呼吸器外科学会専門医
・日本呼吸器外科学会
ロボット支援手術認定プロクター（呼吸器）
・ダヴィンチサージカルシステム術者資格認定

呼吸器外科領域におけるロボット支援下手術はこの数年で適応疾患、術式ともに拡大しています。当科では2022年よりロボット支援下手術を導入しました。ロボット手術の経験を十分に有するスタッフの元、症例数も年々増加しており、安全で患者さんにとってより良い手術となるようにチームで取り組んでいます。

泌尿器領域

泌尿器科部長　大坪（おおつぼ）　智志（さとし）

●専門医等
・日本泌尿器科学会専門医・指導医
・日本泌尿器科学会日本泌尿器内視鏡ロボティクス学会
腹腔鏡技術認定医
・日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会認定
泌尿器ロボット支援手術プロクター
（膀胱・前立腺、副腎・腎（尿管））

2019年11月に当院初症例を執刀して以来、技術の研鑽を積んでおります。また、手術のみではなく、その前後の治療上の決定、術前・術後の説明については特に丁寧に時間をかけてお話しできるよう、心がけております。

今後も手術技能の向上を怠ることなく、より安全・安心な医療を提供できるよう、努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

婦人科領域

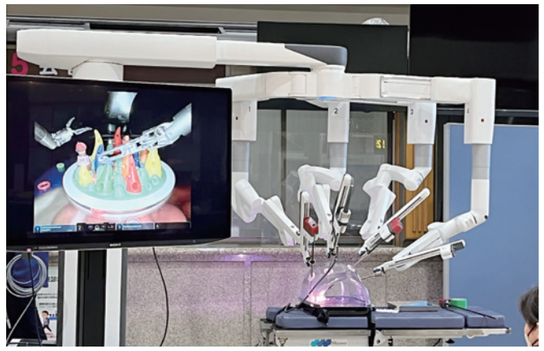
産婦人科主任部長　兼城（かねき）　英輔（えいすけ）

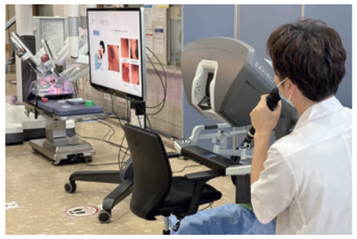
●専門医等
・日本産科婦人科学会専門医・指導医
・日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医・指導医
・日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医
・日本臨床細胞学会細胞診専門医
・日本がん治療認定医機構がん治療認定医
・ダヴィンチサージカルシステム術者資格認定

産婦人科主任部長の兼城です。

産婦人科では子宮良性腫瘍（子宮筋腫、子宮腺筋症など）と、初期子宮体がんがロボット支援手術の対象です。術後5日で退院出来、術後の生活・運動の制限もほとんどなく、患者さんからも非常に好評です。

大きな子宮筋腫も対象にしており、他院で難しいと言われた症例も、ぜひご相談ください。





集まれ近未来の外科医達！
ロボット手術体験

夏休み体験イベントを開催しました！

8月24日（土）に夏休み体験イベント「集まれ近未来の外科医達！ロボット手術体験」を開催し、中学生・高校生の30名が参加しました。

まず初めに中西理事長による「最新医学でがんを治す」と題した、がん治療や最新鋭手術ロボットについての特別講演が行われました。

そして、夏休み体験イベントスタート！

前半は肺がん・胃がん・膵臓がんの3チームに分かれ、放射線・検査・ダヴィンチによる手術を通して、がんの診断から治療までの流れを体験いただきました。

後半では、実際にダヴィンチの操作体験や電気メス・縫合・エコー・顕微鏡体験を行いました。ダヴィンチ操作体験では、剣山に点数を設け、ゴムを剣山に掛けていくゲームに挑戦しました。皆さん初めてとは思えないダヴィンチ操作で、軽々とゴムを掛けていき、高得点を連発していました。ダヴィンチ実機による体験がとても楽しかったようです。

参加者からは「想像を超えた内容で楽しく、感動した」「医師になりたいと思いが強くなった」「医療をより身近に感じることができ、興味も一層高まった」と多くの声が寄せられました。保護者からも「親も勉強になった」「普段絶対に体験できないことを子供に経験させることができた」「またイベントをしてほしい」と感想があり、大変好評でした。短い時間でしたが、とても素敵な笑顔でいきいきとお仕事体験に取り組んでいる姿が印象的でした。

将来、皆さんと一緒に働けることを、心から楽しみにしています。

知って得する

病院のかかり方

マイナンバーカードの保険証について（マイナ保険証）

12月2日（月）から現行の健康保険証の新規ならびに再発行が廃止になりますので、マイナ保険証をご利用ください。今回の廃止に伴い、当院もマイナ保険証カードリーダーを増設いたします。マイナ保険証を使用して、患者さんが診療情報、薬剤情報、特定健診情報の閲覧に同意された場合、主治医が電子カルテにて、それらの情報の閲覧が可能となり、診療を行うことができますので、再来受付機で受付した後、横に設置していますマイナ保険証カードリーダーをご利用ください。

お知らせ

12月2日より①マイナ保険証カードリーダー、②マイナ保険証レーン、③マイナ＆コンシェルジュアプリ窓口を設置します。

ご利用方法

1. 再来受付機で受付した後、①マイナ保険証カードリーダーでマイナ保険証を毎回ご登録ください。
2. 診察等終了後は、②マイナ保険証レーンにお並びください。マイナ保険証窓口にて案内後、自動精算機でお支払いいただきます。

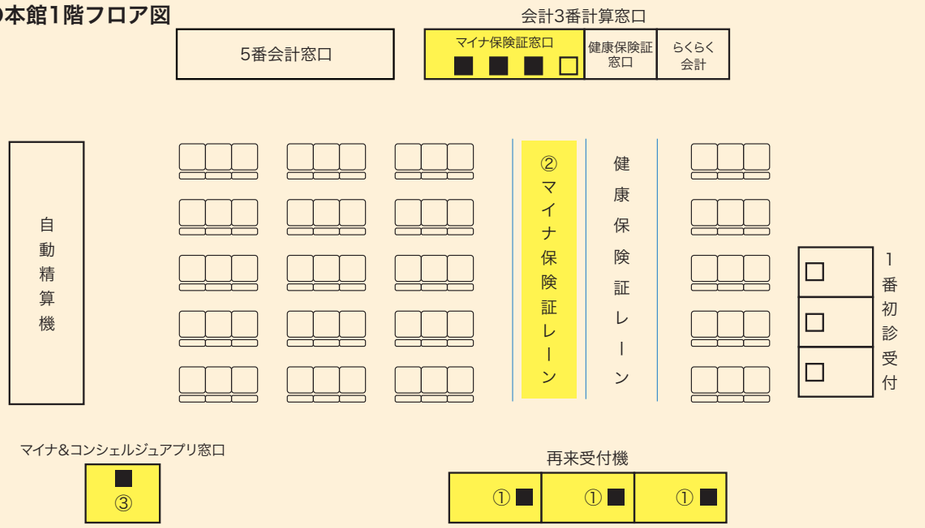
※何かご不明な点等ございましたら、③マイナ＆コンシェルジュアプリ窓口にてお問い合わせください。

注意点

・各種医療証（子ども医療・障がい医療等）は、マイナ保険証では確認できません。すべてご持参ください。
・マイナ保険証がない方は、引き続き保険証を利用できます。

マイナ保険証カードリーダー

●本館1階フロア図



■ マイナ保険証カードリーダー増設箇所

ご不明な点がございましたら、医事係までお問い合わせください

News & Topics

肥満症の治療について

内分泌代謝・糖尿病内科
主任部長
肥満症専門医
足立（あだち） 雅広（まさひろ）

当院は、２０２４年１月より日本肥満学会認定肥満症専門病院に認定されました。肥満症専門医と肥満症生活習慣改善指導士が在籍しており、「肥満症」に対する治療を行っています。

「肥満」は、体の脂肪組織に脂肪が蓄積した状態です。

「肥満症」は、「肥満」の状態で、「肥満」が原因となる下記のような*健康障害を合併した疾患であり、医学的に減量が必要となります。

「肥満症」の治療には、食事療法、運動療法、行動療法、薬物療法、外科療法があります。

行動療法には、食習慣を把握するための「食行動質問表」や、毎日４回（起床時、朝食後、夕食後、就寝前）の体重を測定し、セルフモニタリングする「グラフ化体重日記」などがあります。

薬物療法では、２０２４年２月に、日本では約30年ぶりとなる肥満治療薬としてセマグルチド（商品名ウゴービ®）が発売されました。セマグルチドは、ＧＬＰ-１受容体作動薬であり、中枢神経の食欲を調整する部位に働き、食欲を低下させ、エネルギー摂取を減少させることで減量効果を示します。当科では、適正使用ガイドラインを遵守し、ウゴービ®による肥満症の治療を行っています

肥満・肥満症の方は、他人から食事をコントロールできないなど自己管理能力がないと思われたり、自分も肥満症は自己責任の病気だから病院で治療するものではないという偏見や差別を、肥満症のスティグマと言います。

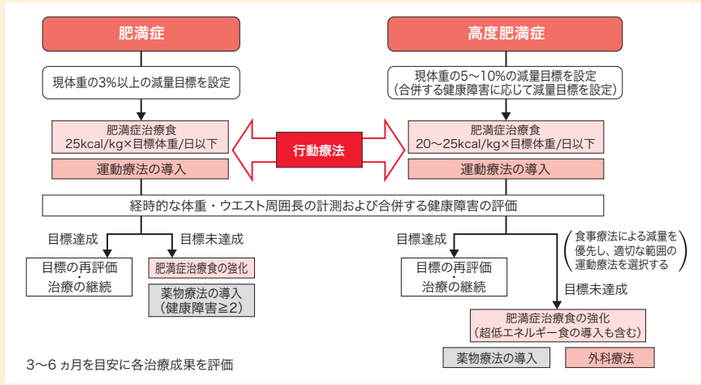
肥満・肥満症の原因は生活習慣だけではなく、遺伝的な要因が大きく関与し、また社会的な要因も関与しており、決して自己責任による病気ではありません。周りの人や自分自身が、スティグマを排除し、肥満症は、他の病気と同じように治療が必要な病気だと考え直して、前向きに治療を行うことが大切です。

肥満症の検査、治療をご希望される方は、当院の肥満症外来への受診をご検討ください。

＊肥満に関連する健康障害

1. 耐糖能障害（2型糖尿病・耐糖能異常など）
2. 脂質異常症
3. 高血圧
4. 高尿酸血症・痛風
5. 冠動脈疾患
6. 脳梗塞
7. 非アルコール性脂肪性肝疾患
8. 月経異常・不妊
9. 閉塞性睡眠時無呼吸症候群・肥満低換気症候群
10. 運動器疾患
11. 肥満関連腎臓

■肥満症治療方針



INFORMATION

救急救命士再研修を開催しました

10月31日(木)に北九州市立医療センター令和6年度第1回救急救命士再研修を開催しました。

救急救命士は救急救命処置における質の確保と、さらなる質の向上のため、国が規定する一手の実習や教育を受けることが必要となっており、当院では救急隊との連携強化のため、救急救命士再研修を実施しています。

今回の研修会では、北九州市・中間市・京築広域圏の地域から救急救命士が参加し、西原副院長、鍋田救急部長が、搬送症例についてディスカッションを行いました。

西原副院長(左)と
鍋田救急部長(右)▶

参加者の皆さまからは、「医師と直接詳しく話す機会も中々ないので、大変有意義な時間になりました」等の感想をいただきました。今年度は12月・2月に研修会を予定しております。

今後も研修プログラムの内容充実に努め、少しでも実践に繋がるように研修会を実施していきます。

12月8日(日)に市民公開講座を開催します

当院では、身近な病気や健康を維持するための役立つ情報について、分かりやすく講演する市民公開講座を開催しています。

令和6年12月8日(日)

講演❶「放っておくと怖い難聴の話」
講師　耳鼻咽喉科部長　小池　健輔

講演❷「認知症を知ろう」
講師　認知症看護認定看護師　佐藤　弥生

講演❸「予防したのに…冬に流行る感染症」
講師　感染管理認定看護師　谷岡　直子

入場無料・申込不要

●時　間　14：00～15：30(開場 13：30)
●場　所　総合保健福祉センター(アシスト21) 2階講堂
北九州市小倉北区馬借一丁目7番1号

市民公開講座
ホームページは
←こちら

登録医のご紹介

かわい腎臓内科・泌尿器科クリニック

北九州市小倉北区馬借3-3-34
TEL:093-551-9900

診療科目

腎臓内科
泌尿器科
人工透析内科
内科

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	●	●	●	●	●	●	—
14:00～18:00	●	●	●	—	●	—	—

休診日:木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

副院長　川井(かわい)　康弘(やすひろ)　医師

当院について

2024年4月より腎臓内科専門医が加わり、腎臓内科、人工透析、泌尿器科の専門クリニックとなりました。蛋白尿、下肢浮腫、慢性腎臓病などの腎臓内科疾患から、排尿痛、頻尿、尿路結石、前立腺肥大症、前立腺癌などの泌尿器科疾患まで幅広く診療を行っております。また、透析ベッド数46床あり、140名前後の血液透析治療を行っております。透析の通院でお困りの方には送迎サービスも提供しております。

地域の方へ、患者さんへのメッセージ

血尿や蛋白尿、腎機能障害等でお困りの方、排尿困難や頻尿、排尿痛等でお困りの方はお気軽にご相談ください。私たちは、患者さんのプライバシーを尊重し、明るくオープンな受付や待合室を提供しています。夜間透析も行っており、働く方々にも安心して通院透析いただける環境を整えております。お身体の健康を心からお祈りしております。

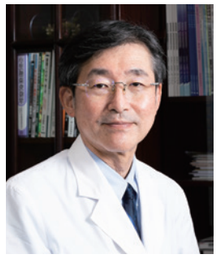
連携病院のご紹介
Cooperation Hospital

国家公務員共済組合連合会　新小倉病院

北九州市小倉北区金田1丁目3番1号　TEL:093-571-1031

診療科目

総合内科、消化器・肝臓内科、循環器内科(SAS外来)、血液内科、リウマチ科、脳神経内科、呼吸器センター(内科・外科)、糖尿病内科、老年内科(高齢者総合内科)、外科、整形外科、眼科、婦人科、泌尿器科(ハルンケア外来・ED外来)、歯科口腔外科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、健康管理センター



院長　塚本(つかもと)　浩(ひろし)　医師

診療時間

初診受付時間:8時30分～11時30分(月～金曜日)
※診療時間は診療科によって異なります。
※詳しくは新小倉病院ホームページまたはお電話にてお問い合わせください。

当院について

小倉駅から約2.5kmの官庁街に位置し、高齢化の進む地域に対応するべく、高齢者に対する急性期医療に力を入れ、地域で最も信頼される病院を目指しています。地域包括ケア病棟では急性期を経過した患者さんの日常生活への復帰をサポートします。内科系ではリウマチ科、消化器・肝臓内科、血液内科が充実し、また老年内科では老年症候群やフレイル、サルコペニアに対し、多職種が連携して日常生活動作の向上に取り組みます。外科系では消化器がん、肺がん、泌尿器がん、乳がんに対する低侵襲の手術や化学療法を積極的に実施しています。整形外科では人工関節手術を積極的に行っています。

地域の方、患者さんへメッセージ

当院の入院診療は一般急性期病棟127床と地域包括ケア病棟132床で運用しています。これにより入院後は一般病棟での急性期から、地域包括ケア病棟でのリハビリを含めた回復期まで、同じ病院、同じ主治医で診療を受けることができ、高齢者にとって優しい環境を整えています。また、救急車も積極的に受け入れています。

今後も職員一同、安全と温かみのある最良の医療を提供することを心がけ、地域で最も信頼される病院を目指してまいります。